

私たちは「虐待ゼロへ いのちにハグを。とちぎ」を応援します

**藤井産業**

**FUTABA フタバ食品**

**トヨタカローラ栃木**

**pal*system**
生協パルシステム茨城 栃木

**KSK環境整備**

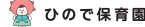
**Meiko Kids**
明光キッズ e

**とちぎ「こーぷ」**
「ともに」の力で、笑顔の明日を

**あずま保育園**

**いきがい保育園**

**あさひの保育園**

**ひので保育園**

**獨協医科大学病院**

学校法人みふみ学院 みふみ認定こども園／学校法人むつみ学園 認定こども園 むつみこども園／
学校法人やまざき学園 認定こども園 釜井台幼稚園／
認定うつのみやこども園 石川幼稚園・東うつのみや保育園／認定こども園 栃木幼稚園／
認定こども園 西那須野幼稚園／認定こども園 若葉幼稚園／やしお幼稚園
■西那須野ロータリークラブ 〈順不同〉

いのちにハグを。サポーター
カンガルーOYAMA 会長 大久保幸子、立正大学 教授 大竹智、
子ども虐待防止ネットワークとちぎ 代表 福田雅章、
栃木フォスタリングセンター 代表理事 畠山憲夫、歌う海賊団!!、
NPO法人レインボー 代表理事 黒子悦子、
(一社)栃木県若年者支援機構 代表理事 中野謙作、
とちぎ男女共同さんかくねつ 理事長 大澤里香 〈順不同・敬称略〉



子どもたちの成長や養育が困難な保護者を支援する宇都宮乳児院のスタッフ

栃木県済生会宇都宮乳児院

現在は概ね3歳までの子どもが生活している。乳児院、児童家庭支援センターのほか子育て支援短期入所(ショートステイ)も行い、疾病、出産などで、家庭での養育が一時的に困難になった、概ね3歳までの子どもを預かっている。

乳児院の大きな流れになっています」と説明します。同乳児院への入所理由は「虐待」「家族の精神疾患による養育困難」「経済的困難」が6割以上を占めますが、それぞれの要因が複雑に絡み合うケースもありま

最近では、妊娠しても医療機関を受診しないまま出産するという「飛び込み出産」が増加し、胎児虐待と呼ばれるいます。こうした胎児虐待は、妊婦が相談窓口を知らない、利用の仕方が分からずSOSを出せないことも多く、妊婦への支援制度の周知が急がれています。



乳児院では、子どもたちの発達やアレルギーへの配慮、経験値の少なさを補うための外出体験など、特性や年齢に応じた養育が行われています。虐待を受けた子どもは「マイナスからのスタート」であることとを理解し、安心できる環境を提供することも大切です。スタッフが困るようなことをわざとする「試し行動」や「赤ちゃん返り」などの行動も、否定せずに受容し、子どもの気持ちに寄り添う姿勢を大切にしています。スタッフはチームで関わり、子どもにとって安心できる存在、安心できる場になるよう努めています。

試し行動を否定しない

子どもやその保護者への支援は、継続的な「伴走」が必要なものも多いです。こうした支援は施設やスタッフの頑張りだけでは、限界があります。地域共生社会、地域とのつながりがますます大切になってい

相談支援員の福田雄大(ふくだかつひろ)さんは相談に来た方に単に「頑張つて」と励ますのではなく、相談者の話を聞いてセンターから帰る時に、ほんのちよつと笑顔につながるような支援をしています」と話します。それは、すぐに解決に至らなくても「誰かにつながれた」「人じゃないんだ」という感覚が、孤立や孤独を感じる人への大きな支援になる例を見てきたからです。

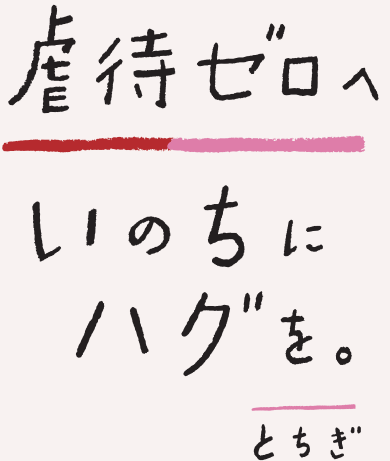
おり、コンセプトは「ひとりではないで」です。保護者からは「子どもが言うことを聞いてくれない」「ついに子どもをたたいてしまつ」「子どもが不登校になった」「子どもからは「学校に行きたくない」「親からよく怒られる」「将来が不安」などの悩みが寄せられます。

乳幼児とその家族に「安心」を

子どもへの虐待のない社会を目指して

下野新聞

子ども虐待防止啓発キャンペーン

**虐待ゼロへ**
いのちにハグを。
とちぎ

section 31

企画・制作 下野新聞社ビジネス局
企画 監修 栃木県
栃木県警察本部

乳児院を知っていますかー。家庭のさまざまな事情で家族と一緒に暮らすことのできない乳幼児が暮らす場所です。乳児院の「今」を知ることは、社会の課題を知ることにつながります。